

佐々木 幸子 様

令和6年春のコンクールで最優秀賞を受賞されたことで、令和2年春の花壇コンクール以降で通算3回の最優秀賞受賞となりました。そのため「山陽小野田市花いっぱい運動モデル花壇指定」とすることになりました。佐々木様に「花壇を作るうえでの心掛けていること」について、以下のとおり話を聞いてきました。

■過去の最優秀賞受賞花壇



令和2年度秋の花壇コンクール



令和5年度春の花壇コンクール



令和6年度春の花壇コンクール

花を育てるようになったきっかけ

親が花が好きで育てていたのので、小さいころから花を育てることが好きだった。結婚後も親元に球根をもらって育てるうちに、どんどん増えていった。10年位前から花壇コンクールに参加するようになり、どんどん面積が増えていった。

年間スケジュール

花壇コンクールが年二回になってからは、花壇コンクールの審査が終わり少しして土づくりを開始し、種や苗を植えて育てる。花が咲いたところに花壇コンクールがあるので、その繰り返し

苦労していること

市内のほかの場所より気温が低いため、冬場は花の育ちが悪い。また、もともと田んぼを地上げした場所に花壇を作っているので湿気が多い。

工夫していること

冬場は早めに種や苗を植えるようにしている。イノシシやタヌキ、サルが出る。畑と併設しているので動物が入ってこないように柵を作っている。

管理・手入れ

気温が低く、湿気が多いので根腐れしないよう水やりの量は気を使っている。夏場は乾燥しないように朝、夕の2回やっている。除草は、生えていれば抜く。肥料は早く育てようと思い、たくさんあげてしまうと枯れるので、量に気を付けている。害虫駆除は工夫していること言ったとおり。

デザイン・配置

全体的に見えるように高さには気を使っている。見飽きないように昨年と同じデザインにならないよう配置を変えたり、新しい花を植えたりしている。